

立教池袋 運動部通信

第66号 2015.10.29.

ゴルフ部 夏・秋の戦績

～夏・秋の戦績～

今回は夏の大会の結果と秋の新人戦の様子をお届けします。各部素晴らしい戦績を残していただので、ぜひじっくりと読んでみて下さい。また、新人戦はこれから試合の部も多いので、日程を見て応援に行きましょう!!



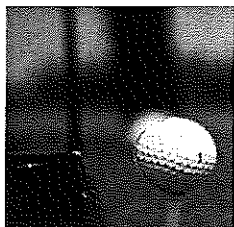
中学

○関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技 (7/29～31 紫 CC すみれコース)

第18位 ②梅内秀太郎 (227) ⇒日本ジュニアへ

○日本ジュニアゴルフ選手権競技 (8/19～21 霞が関 CC)

第47位 ②梅内秀太郎 (160=79・81・一)



○関東中学校ゴルフ選手権 (団体 6/25 大宮国際 CC、個人 7/23 真名 CC)

団体の部 第4位 ②梅内・③金森・①井上・③小本 (232) ⇒8年連続全国大会へ

個人の部 第5位 ②梅内秀太郎 (76) ⇒全国大会 (個人) へ

出場 ①井上和馬 (87)、①戸上耀之佑 (94)、③田中隆太郎 (99)、③小本 滯 (101)、③金森圭太郎

○全国中学校ゴルフ選手権大会 (団体 8/4～5、個人 8/7～8 宇部 7200 江畑池コース)

団体の部 第12位=515 (250・265)

②梅内 (157=76・81)・①井上 (169=89・80)・③金森 (85=85・一)・③田中 (115=115・一)・①戸上 (104=一・104)

個人の部 第42位 ②梅内秀太郎 (156=74・82)

○平成27年度豊島区スポーツ奨励賞 受賞

高校

○関東ジュニアゴルフ選手権決勝競技 (7/29～7/31 紫 CC すみれコース)

出場 ②樋口 匠 (154)、②青木公翼 (156)、②金子憲洋 (157)、③森川治門 (161)

○関東高等学校ゴルフ選手権 (団体 6/16～17 軽井沢 72、個人 7/24～25 那須野ヶ原 CC)

団体の部 第18位 ②樋口・②金子・②青木・②星・②笹井 (464)

個人の部 優勝 ②塚本 岳 (135=70・65) ⇒表彰

第36位 ②樋口 匠 (147=76・71) ⇒全国大会 (個人) へ

出場 ②金子憲洋、②星 一生、②笹井孝祐、①吉田圭吾、③福田博之

○全国高等学校ゴルフ選手権大会 (個人 8/7～8 宇部 7200 万年池コース)

個人の部 第65位 ②塚本 岳 (150=71・79)、第89位 ②樋口 匠 (153=74・79)

○第70回国民体育大会ゴルフ競技 (9/28～29 紀伊高原 GC)、アジアジュニアゴルフチームチャンピオンシップ出場 (10/6～8 韓国)

出場 ②塚本 岳

○平成27年度豊島区スポーツ奨励賞 受賞

共通

○夏季合宿中の立教杯 (8/18～19 サンコー7200)

優勝②金子憲洋 (145)、準優勝②樋口 匠 (147)、3位②星 一生 (148)、4位①吉田圭吾 (150)、5位①渡辺陸太郎 (153)、

6位②山田智大 (160)、7位①西森大芽 (167)、8位②小村 悠 (172)、9位中③小本 滯 (173)、10位②坂井雄洋 (174) 他

今後の予定

○東京都高等学校ゴルフ選手権秋季大会 (11/16 取手国際 GC)

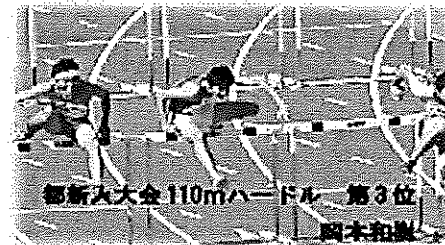
○アジアパシフィックジュニアカップ (11/5～12 ハワイ)、全日本大学・高等学校ゴルフ対抗戦 (11/20～21 上総モナーク CC)

出場 ②塚本 岳

陸上競技部

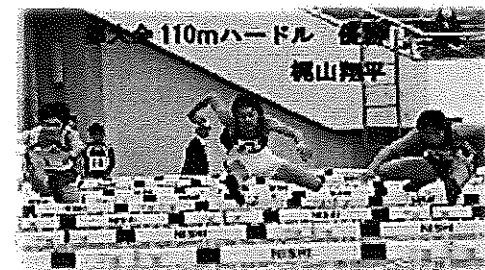
高校生 岡本 関東新人出場 中学生 梶山 都大会優勝

10月に行われた東京都高校新人大会に本校から多くの選手が出場した。中でも110mハードルでは岡本、山口の2名が決勝に進出。向かい風の中、岡本は自己ベストの15秒38で3位に入賞し、高校生になってからは初となる関東大会出場を決めた。山口も関東こそ逃したが、5位に入賞した。両者は400mハードルでも決勝に進出し、それぞれ山口7位、岡本8位に入賞した。期待されたリレーでは惜しくも力及ばず選で敗退したものの、1年生加藤が100mで、峰崎が200mで準決勝に進むなどポテンシャルの高さを見せ、来年への期待も膨らむ大会となった。



都新人大会 110mハードル 第3位 岡本和樹

中学生の支部対抗戦で行われる都大会に豊島区代表として出場した中2 梶山は110mハードルで優勝し、昨年に続いて大会連覇を果たした。決勝の15秒57は来年の全国を狙うに十分なタイムといえる。同じく1年生の100mハードルに出場した中1の今村も8位に入賞し、豊島区チームの男子総合5位に大きく貢献することができた。



都大会 110mハードル 優勝 梶山翔平

11月3日には高校東京都駅伝が控えている。全国でも通用する大エース本橋を中心にまとまりのあるチームになってきた。高校から始めた1・2年生メンバーも着実に力をつけてきている。RIFと日程が重なってしまいましたが、応援よろしくをお願いします。

山岳スキー部(中学)

全国中学校スキー大会東京都選考会 大会日程

2016年1月3日(日)～6日(水)、北志賀よませ温泉スキー場にて全国中学校スキー大会東京都選考会が行われます。年に一度の中学の大会です。



山岳スキー部(高校)

全国関東高等学校スキー大会東京都予選会 大会日程

2016年1月4日(月)～8日(金)、群馬県鹿沼スノーエリアスキー場にて全国関東高等学校スキー大会東京都予選会が行われます。インターハイ・関東大会につながる大会です。

東京都高等学校スキー大会 大会日程

2016年2月13日(土)～17日(水)、新潟県セントレジャー舞子スノーエリアにて東京都高等学校スキー大会が行われます。唯一学校対抗のある大会です。

中・高 水泳部 大会結果報告

夏休みは、「質」、「量」共に1年間でもっとも高い期間。今年度はよりスピードを意識して練習を組み立ててきた。それぞれの結果を受け止め今後につなげてもらいたい。以下は9月に行われた大会の結果である。

□東京都中学校学年別水泳競技大会 (9月12日・13日)

(1年 50m 自由形 タイム決勝)	(2年 100m 平泳ぎ タイム決勝)
189位 磯本 圭吾 38秒67	12位 宮本 拓茂 1分14秒44
(2年 50m 自由形 タイム決勝)	27位 伴野 裕希 1分20秒51
17位 今田 慎吾 28秒34	40位 中津 大慎 1分24秒93
18位 宮地 晴希 28秒40	(3年 100m 平泳ぎ タイム決勝)
(1年 100m 自由形 タイム決勝)	5位 高野 大希 1分10秒62
32位 渡邊 快 1分12秒76	21位 渡邊 翔太 1分19秒13
38位 坪内佳佑規 1分14秒30	(1年 100m バタフライ タイム決勝)
68位 慶松 政弘 1分26秒53	6位 桐山 心成 1分06秒54
(2年 100m 自由形 タイム決勝)	(2年 100m バタフライ タイム決勝)
15位 長谷川 綾 1分01秒67	12位 新井 耀平 1分11秒10
16位 米川 文人 1分01秒81	(3年 100m バタフライ タイム決勝)
17位 大山 泰典 1分01秒83	21位 石松 直樹 1分05秒73
(3年 100m 自由形 タイム決勝)	23位 小畑 大貴 1分06秒68
27位 内藤 匠海 1分01秒78	(3年 200m個人メドレー タイム決勝)
30位 赤松 駿樹 1分02秒42	21位 田村章太郎 2分40秒32
(1年 100m 背泳ぎ タイム決勝)	(全学年 200m フリーリレー タイム決勝)
11位 清 裕登 1分12秒33	10位 岡田・高野・大山・内藤
(2年 100m 背泳ぎ タイム決勝)	1分49秒28
12位 岡田 凱人 1分06秒37	(全学年 200m メドレーリレー タイム決勝)
15位 高田レオナ 1分08秒49	3位 高田・高野・石松・岡田
(1年 100m 平泳ぎ タイム決勝)	1分58秒67
8位 横野 涼介 1分23秒54	

□東京都高等学校新人水泳競技大会 (9月19日・20日)

(50m 自由形 予選)	(50m バタフライ 予選)
16位 荒井 祐哉 25秒67	40位 佐久間大智 30秒49
57位 東海林輝之 27秒38	(100m バタフライ 予選)
203位 雨宮 大河 30秒50	3位 芝本 新里 57秒94
(100m 自由形 予選)	(100m バタフライ 決勝)
15位 岡野 晃大 56秒27	2位 芝本 新里 57秒00
23位 黒田 大貴 57秒24	(400m フリーリレー タイム決勝)
57位 伊与久純平 59秒87	4位 芝本・高野・黒田・荒井
(400m 自由形 タイム決勝)	3分39秒69
2位 高野 大祐 4分08秒41	(200m メドレーリレー タイム決勝)
18位 菊池 一成 4分37秒10	7位 高野・荒井・芝本・黒田
(50m 背泳ぎ 予選)	1分51秒55
106位 森 友冨 41秒57	

9月で高校3年生が引退し、10月からは新体制での新たなシーズンが始まった。以下は中高の新しい3役である。

高校3役は、キャプテン：黒田、副キャプテン：芝本、マネージャー：雨宮

中学3役は、キャプテン：大山、副キャプテン：長谷川・宮本

彼らを中心に、どんなチームになるのか期待したい。

「単に速い選手ではなく強い選手になろう。誰からも応援される選手になろう。」

顧問 酒井

中高剣道部

夏休みの8月2日、墨田区総合体育館メインアリーナで五大学附属剣道大会が行われた。高校・中学ともに3年生が参加する最後の大会、本校剣道部は高三4名、高二6名、高一3名で7人制の高校の部に、中三3名、中二7名、中一3名で5人制の中学の部に参加した。

高校の部

(予選リーグ)

1回戦 対早大学院	負け
2回戦 対法政大学	勝ち
3回戦 対慶応義塾	負け
4回戦 対早大本庄	勝ち

(順位決定戦)

決定戦 対法政第二	負け
-----------	----

以上の結果、高校は第6位、中学は第4位となった。

中学の部

(トーナメント)

1回戦 対慶応湘南中	勝ち
2回戦 対慶応中等部	負け
3回戦 対明大中野中	負け

8月24日、東京都秋季剣道大会が行われた。

1回戦 シードのため試合なし	
2回戦 対都立上水	負け

10月4日、豊島区秋季剣道大会が行われ、以下の戦績を挙げた。

中学一年生個人戦の部	岡本＝準優勝
中学二年生個人戦の部	青木＝優勝、木村＝準優勝
中学生団体戦の部	立教池袋中A(岡本、青木、木村)＝準優勝

10月11日、第四ブロック秋季剣道大会が行われ、以下の戦績を挙げた。

1回戦 対志村一中	勝ち
2回戦 対上板橋三中	勝ち
3回戦 対京北中	負け

以上の結果、ベスト8となり、都大会進出が決定した。

R.I.F.が終わると中学は11/7に秋季都大会、高校は11/23に三支部大会高校に参加する。まだまだ成長途中の立教池袋中高剣道部、常に上を目指してチャレンジしていきたい。

中学サッカー部

<東京都私学大会>

8月23日(日) 立教池袋 0 — 1 東京成徳

<秋季豊島区大会>

予選リーグ Aグループ

10月 1日(木) 立教池袋 4 — 2 西池袋

10月 4日(日) 立教池袋 6 — 2 池袋 (Aグループ1位)

決勝トーナメント 準々決勝

10月 17日(土) 立教池袋 3 — 1 明豊

決勝トーナメント 準決勝

10月 18日(日) 立教池袋 0 — 2 本郷

決勝トーナメント 3位決定戦

10月 25日(日) 立教池袋 2 — 0 千登世橋 (ブロック大会出場)

<ブロック大会>

初戦 10/31(土) vs. 駿台学園中(北区2位) 12:30 キックオフ

@ 東京朝鮮中高級学校グラウンド

決定戦 11/3(月) vs. 小石川中・赤塚一中の勝利校 12:30 キックオフ

@ 高島第三中学校グラウンド (勝てば都大会出場)

今年の新チームは現中3と比べると、足元の技術は劣り、特長のある選手が少ないと感じていたものの、1学年の部員数が多いこともあり、「団結力」が強いチームだと感じていた。華麗なパスサッカーをしているわけではないが、泥臭くて勝ちにこだわるサッカーでここまで奮闘している。豊島区で一歩抜き出した実力を持つ本郷中には及ばなかったものの、その他のチームとは張り合うことができた。今年是对戦する相手に応じてシステムや戦術を変更し、スタメンも固定せずに相手の出方に対して毎回違う選手を出場させている。その分、指示することも多く、選手たちへの要求も多くなっているが、サッカーは常に状況の変化に応じて、柔軟に判断して瞬時に対応することが求められる競技だ。その意味において、今回、選手たちが経験していることは今後必ず大きな財産となるだろう。次戦の相手は強豪校だが、失うものは何もない。豊島区の代表として、恥ずかしくないように全力でぶつかり、チームで団結して納得のいく結果を残してもらいたい。

みなさま、応援をよろしくお願い致します。(顧問)

中学バスケットボール部

☆豊島区夏季大会☆第3位



- 1回戦 立教池袋 45 - 43 駒込
- 2回戦 立教池袋 166 - 10 池袋
- 決勝リーグ① 立教池袋 33 - 45 西池袋
- 決勝リーグ② 立教池袋 40 - 47 巣鴨
- 決勝リーグ③ 立教池袋 43 - 39 学習院

※優秀選手賞 霜田 龍一

秋、春とベスト4入りならず、悔しい思いをしてきたチームであったが、最後の大会の緒戦でシード校を破り、ベスト4入りを果たした。都大会出場はならなかったが、「勝負の夏」に向けて努力してきたことが大いに感じられるものであった。

☆私立大会☆予選リーグ敗退

- 立教池袋 38 - 28 慶応
- 立教池袋 42 - 41 世田谷学園
- 立教池袋 32 - 52 早稲田実業
- 立教池袋 27 - 65 安田学園
- 立教池袋 76 - 11 多摩大目黒
- 立教池袋 16 - 40 足立学園

新チーム初の大会は苦いものとなった。強豪集まる予選リーグであったが、勝てる試合を落としてしまったり、チームとしての完成度はまだまだであった。強豪校とできた経験を次に生かしたい。

☆第十支部大会☆準優勝

3年生が出場する大会で、全試合全員出場で見事準優勝。

☆4Sカップ(芝、成城、世田谷学園、立教池袋)☆優勝

※優秀選手賞 坪井 悠起、星野 光海

☆豊島区秋季大会☆ベスト4進出。現在決勝リーグ中

- 2回戦 立教池袋 54 - 40 巣鴨
- 決勝リーグ① 立教池袋 53 - 58 千川
- 決勝リーグ② 立教池袋 56 - 47 本郷
- 決勝リーグ③ 立教池袋 - 駒込 (11/1 巣鴨中学校にて 10:20~)

<下級生情報>

12月23日(水・祝) 私立1年生親睦大会



中学野球部

▽ 第68回 東京都中学校野球夏季選手権大会

『3年生最後の都大会は、ベスト8』



- 一回戦 シード
- 二回戦 vs 日野第四 11-1 ○ (5回コールド)
- 三回戦 vs 三鷹第二 9-0 ○ (5回コールド)
- 準々決勝 vs 荏原第一 1-4 ●

春季都大会で準優勝をし、シード校として挑戦した最後の夏季都大会。手の届かなかった優勝と関東大会出場を目標に挑んだ戦いであったが、悔しい準々決勝敗退となった。しかし、ここまで3年生選手・保護者と熱く野球ができたこと、選手たちが毎日一所懸命に野球に取り組んでくれたことの満足感のほうが大きかった。「本気の日々」に感謝したい。

▽ 秋季豊島区大会 「新チームも優勝。区大会6連覇。ブロック大会12季連続出場」

- 一回戦 vs シード
- 二回戦 vs 本郷 12-2 ○ (6回コールド)
- 準決勝 vs 巣鴨 6-0 ○
- 決勝 vs 西巣鴨 1-0 ○

※第四ブロック大会出場決定。12季連続のブロック大会出場。

▽ 秋季第4ブロック大会

- vs 日大豊山(文京区) 1-5 ● ※都大会出場ならず

<今後の予定>

11月に埼玉県川口市と千葉県銚子市主催の大会に招待校として参加します。年末まで練習試合が組まれています。

中学卓球部 主要戦績

■夏季区大会

- 団体 優勝
- 個人(シングルス)
 - 小川 優勝
 - 高橋 ベスト4
 - 檜葉 ベスト8
 - 王 ベスト8
- 個人(ダブルス)
 - 金井・小林ペア ベスト4
 - 栗山・小越ペア ベスト4

■夏季都大会

- 団体 1回戦 対 東村山五 3-2○
- 2回戦 対 尾久八幡 0-3● (全国2位)

■私学大会(約1500人中)

- 団体 立教A ベスト128
- 個人(シングルス)
 - 小川 ベスト64
 - 王 ベスト64
- 個人(ダブルス)
 - 折橋・宮原ペア ベスト8

区大会は団体で4連覇中、番狂わせもあったものの個人も納得のいく結果であった。私立大会ではダブルスがベスト8に入ったことが素晴らしい。後輩達も続いてほしい。(顧問)

中学庭球部 試合結果報告



<都第4ブロック団体戦>

- ~優勝、都総体出場決定~
- SF 5-0 対 茗台
- F 5-0 対 本郷

<都総合体育大会団体戦>

- ~第3位、関東大会出場決定~
- 3R 5-0 対 大泉桜学園
- QF 3-0 対 宮上
- SF 0-3 対 小平二
- 3決 3-2 対 成城学園

<関東大会団体戦>

- 1R 5-0 対 南河内二
- 2R 0-3 対 石神井東
- コンソ 0-3 対 栄進

<関東大会個人戦>

- ~ダブルス、全国大会出場決定~
- シングルス ベスト32 木村
- ダブルス ベスト8 齋藤・地主

※仲間との絆に支えられ、常に前向きにボールへ向き合った3年チームは、ぎりぎりの試合もあきらめることなく勇気と粘り強さを持ってこれを制し、1年部員の目の覚める様な強気のショットの励ましも受け、上位シードを破って都3位に進出、関東大会へ駒を進めた。念願の全中団体出場は惜しくも果たせなかったものの、個人戦では主将・主務ペアが長時間の試合を意地で制し、10年ぶりの全中出場を果たした。先輩たちの勇姿は下級生の心にも刻み込まれ、都新人団体戦における5回戦の苦しい試合を勝ち抜き関東進出を決める原動力となった。新チームも目標を高く持ち練習に励んでいきたい。

<全国大会個人戦>

- ~10年ぶりの全中出場~
- ダブルス 出場 齋藤・地主

<都新人第4ブロック大会>

- シングルス 優勝 木村
- ベスト16 廣瀬、神田
- ダブルス 優勝 木村・神田
- 3位 原田・廣瀬
- ※以上は都大会個人戦に出場

<都大会新人個人戦>

- シングルス ベスト8 木村
- ダブルス ベスト8 木村・神田

<都大会新人団体戦>

- ~第5位、関東大会出場決定~
- 3R 5-0 対 三宿
- 4R 3-0 対 中大付属
- 5R 3-2 対 明大明治
- QF 1-3 対 日大三

高校野球部

2年ぶりの本大会出場！ しかし・・・

秋季東京都高等学校野球大会ブロック予選 第18ブロック
2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立教池袋	2	1	0	0	0	2	0	2	0	7
國學院	1	0	1	0	0	1	0	1	1	5

ブロック代表決定戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
筑波大駒場	0	0	0	0	0					0
立教池袋	3	0	6	1	X					10

※5回コールドゲーム

秋季東京都高等学校野球大会 本大会
2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
佼成学園	0	0	0	0	0	1	1	3	5	10
立教池袋	1	0	1	0	2	0	0	0	0	4



昨年は初戦で超強豪校と対戦し、善戦はしたものの敗れ予選敗退となった秋季大会。今年初戦は苦戦したものの無事にブロック予選を突破し、2年ぶりに本大会出場となった。約250校が予選に参加し、勝ち上がった48校だけが本大会に出場できる。高いレベルの学校と対戦できる絶好の機会となる。また同時に、本大会参加校は春季大会の予選が免除となる特典もついてくるため、是が非でも出ておきたいのがこの秋の本大会なのである。

そして本大会。2回戦からのスタートであったが、当然ながら初戦から強豪校との対戦。しかしながら臆することなく戦い、中盤までは立教ペースで予想以上の出来で4-0とリード。しかし中盤以降、徐々に流れは相手の方へ。ピッチャーも強力打線相手に好投を見せていたが、やはり疲れが見え始め段々と近づいてくる展開。そしてついに終盤、相手打線に捕まり逆転される。そしてそのまま逃れ返すことができず敗退となった。周囲からは強豪相手によくやったと言われるが、負けは負け。どうしてもこのレベルの相手に勝つことができない悔しさだけが残る。こういう相手に勝たなければベスト16以上へは進めない。着実に距離は縮まっているのだが、あともう一歩足りないことの現れなのかもしれない。幸いなことに春季大会は本選から出場できる。課題はそれぞれわかっているはず。この長い冬をどのように過ごすか。それによって春以降の結果が決まってくるはずだ。期待したい。

高校庭球部

平成27年度都高校新人大会

個人戦(単・複)結果 9/13~

出場者：中野(高1年)、生松(高2年)、御代(高2年)
磯部(高2年)、山川(高2年)、高橋(吉)(高2年)
飯塚(高2年)、田内(高2年)、松野下(高2年)



▽シングルス…磯部が予選決勝(5R)進出
→学校ポイント=8点

○東京都私立中学高等学校テニス選手権大会(団体) 途中経過

- 立教池袋高A 4R進出中
- 立教池袋高B 4R進出中
- 立教池袋高C 3R進出

今年度の公式戦が終了した。目標の“関東”につながる2つの団体戦では、いずれも昨年度の結果を上回ることができず涙をのんだ。夏に練習試合で戦ったいくつもの学校が順当に16校戦へ駒を進めている。「歴然たる実力差」に雪辱を誓い、速二無二食らいつけるかどうか。春まで「今日一日何をすべきか」を問う日々。(顧問)

高校卓球部

主要戦績報告

- 地区別学校対抗

(於 葛飾区総合スポーツセンター 7/27)

団体	1回戦 vs 城北C ○
	2回戦 vs 文京B ○
	3回戦 vs 城北B ● ベスト64

- 東京都私立中高卓球大会

(於 東京体育館 8/24-27)

団体	1回戦 vs 日大豊山C ●
シングルス	高3島村がベスト32



互いにプレーを分析することで課題を抽出し、計画的に練習を継続した成果がみられた夏であった。今後の活動の基盤となる取り組みを新しい世代にも伝え残してくれることを期待したいと思います。(顧問)

高校サッカー部

選手権大会 東京都1次予選結果



1回戦 対 都立 桜修館	0-2	×	今年のチームは例年以上に力があっただけに、残念な敗戦だった。油断はなかったと思うが、アウェイの雰囲気にもまれてしまったのか、前半から焦りが出ていた。実力は相手の方が上だったということ。この結果を真摯に受け止めて、後輩諸君は普段の練習に取り組んでほしい。
--------------	-----	---	--

新人戦地区予選日程

1回戦 対 豊南	11月15日	3回戦 対 巣鴨、足立工業の勝者	11月23日
2回戦 対 学習院	11月22日	4回戦	対戦校未定
		5回戦	
		6回戦	

新キャプテン：佐久山 颯人(高2) 副キャプテン：御手洗 泉希・小野 勇輝(高2) マネージャー：竹内 慎之介(高1)

またも強豪の壁敗れず・・・

第97回全国高等学校野球選手権大会 東東京大会
2回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
葛飾商	0	0	0	0	0	0				0
立教池袋	0	0	2	0	3	5X				10

※6回コールドゲーム

3回戦

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
立教池袋	0	0	0	1	0	1	0			2
成立学園	2	0	2	2	1	3	X			10

※7回コールドゲーム

春季本大会2回戦でのコールド負けの悔しさを胸に臨んだ3年生最後の夏。2回戦に勝利し、臨んだ3回戦。相手はまたも甲子園出場経験もある強豪。おまけに春の前年ではあるが春の都大会優勝校。メンバーも残っており簡単な相手ではないことは間違いなかったが・・・

顧問的にはバッテリー中心にしっかり守り、ワンチャンスを物にして勝つという青写真があったのだが。結果はご覧の通り。とにかく悔しい結果に。

今年の3年生の代はとにかく引きが強く、強豪校とすぐに当たることが多く良い結果を残すことができなかったが、投手を中心とした守りのしっかりとしたチームで、歴代のチームと比べても力のあるチームだったと思う。運も実力のうち、と言われてしまうかもしれないが、もう少しこのチームのゲームが見たかった。

3年生諸君、お疲れ様でした。この大会で一線を退くが、卒業までは野球までは野球部員。自覚ある行動を。そして新たなステップの準備をしっかりとしてください。

そして残ったメンバーは、来年こそベスト16の壁を破るべく、更なる鍛錬積んでほしい。期待している。

高校バスケット部

高校バスケット部は1年生6名、2年生5名の計11名で関東大会出場を目標に練習に励んでいます。夏のインターハイ予選では、

池袋高校初の都ベスト16進出を果たしました！！

現在、秋の新人戦の初戦を終えたところです。

少人数で頑張っていますので、応援よろしくをお願いします！

夏のインターハイ予選の結果

- 1回戦 ○立教 105 - 71 駒込●
- 2回戦 ○立教 100 - 84 都本所●
- 3回戦 ○立教 70 - 40 都調布南●
- 4回戦 ○立教 100 - 88 昭和第一学園●
- ベスト16決定戦 ○立教 100 - 78 都武蔵村山●
- ベスト8決定戦 ●立教 66 - 97 成立学園○

秋の新人戦のここまでの結果

- 1回戦 ○立教 133 - 61 都武蔵丘●
- 次戦はvs都国分寺(11/1 9:00~ 都文京会場にて)

